

石川町

議会だより

石川町議会報告会

No. 177

平成26年 2月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会

▲議会報告会山橋地区会場(山橋自治センター)

2013 12月定例会 議会報告会特集

- P2 条例改正・補正予算などを審議
- P5 町政を問う(6人が質問)
- P11 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)
- P13 第3回議会報告会
(10月23日～25日)

決まりました

条例改正・補正予算・請願ほか

審議内容	採決	賛・反
税条例の一部改正 地方税法の改正により住民税の公的年金からの徴収取扱い等の改正	可決	全員賛成
国民健康保険税条例の一部改正 地方税法の改正により、国税税算定にあたり譲渡所得分離課税などの改正	可決	全員賛成
諸収入金の延滞金徴収条例の一部改正 地方税の延滞金利率見直しをふまえ、税外収入金延滞金の利率の改正	可決	全員賛成
後期高齢者医療に関する条例の一部改正 地方税の延滞金利率見直しをふまえ、後期高齢者医療保険料延滞金の利率の改正	可決	全員賛成
介護保険条例の一部改正 地方税の延滞金利率見直しをふまえ、介護保険料延滞金の利率の改正	可決	全員賛成
一般会計補正予算 道路橋梁災害復旧工事に3000万円の増、道路改良工事に3700万円の増、自治センターの改修・駐車場整備に989万円の増、職員給与減額による人件費1313万円の減など（合計で7750万円の増）	可決	全員賛成
国民健康保険特別会計補正予算 療養給付費・高額療養費等に5960万円の増	可決	全員賛成
後期高齢者医療特別会計補正予算 後期高齢者医療広域連合納付金、一般会計繰出金等に1401万円の増	可決	全員賛成
介護保険特別会計補正予算 居宅介護サービス給付費5200万円の減、介護予防サービス給付費に500万円の増など	可決	全員賛成
簡易水道事業特別会計補正予算 一般管理費205万円の増など	可決	全員賛成
宅地造成事業特別会計補正予算 工業団地管理費494万円の減など	可決	全員賛成
水道事業会計補正予算 漏水修繕費等391万円の増など	可決	全員賛成
雇用の安定を求める意見書提出の請願 請願者：労働組合総連合会石川地区連合議長 高宮 清	採択	全員賛成
特定秘密保護法案の制定に反対する意見書の提出を求める請願 請願者：社会民主党石川総支部 芳賀正人	※趣旨採択	全員賛成
2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書提出方の請願 請願者：福島県教職員組合石川支部長 星 恵子	採択	全員賛成
石川中学校屋内運動場耐震補強・大規模改造工事請負変更契約の締結 工事の打杭深度の変更や外壁塗装面積の増などにより、請負金額を1240万円増額するための契約	可決	全員賛成
雇用の安定を求める意見書 提出者：草野伝明議員	国・省庁へ提出	可決 全員賛成
2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書 提出者：下山田和雄議員		可決 全員賛成
東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書 提出者：遠藤貢蔵議員		可決 全員賛成

※趣旨採択になった理由：12月6日にこの法案が可決成立となったため

平成25年12月定例会は、12月5日から11日までの7日間の会期で開かれ、条例改正5件・補正予算7件・請願3件・契約1件・議員発議3件の合計19件を審議しました。
一般質問には6人の議員が登壇し、町政を問いました。また、32人の傍聴がありました。



▲中谷自治センター駐車場を整備



▲道路改良予定箇所の確認（山形字大下地内）

一般会計に 7750万円の追加補正



▲工事の変更について説明を受ける（石川中学校）

本会議審議

Q 補正予算にランニングコース整備費800万円が計上されている。コースの概要は。（渡邊）

A 石川中野球場わきから借宿橋に行き、借宿橋から山側の林道を通り、形見の尾巻側に下りて、飛鳥川沿いを借宿橋に戻り野球場に帰るコースで、3.5kmのコースとなります。（教育長）

Q 教育委員会内で協議（教育長）

された結果の整備なのか。

（渡邊）

A 3年くらい前から中学校が整備を要望しており、当初石川中学校南側の山林を県の補助で整備する予定だったが、松作への道路工事が終了しないと始めることができないことから、形見の林道を整備することになりました。（教育長）

要望 教育委員会で議論を重ねてから予算要求すべきで、今後はそのようにし

てほしい。

（渡邊）

Q 中学校改造工事変更契約の内容は。（瀬谷）

A 杭基礎深度の変更、外壁塗装面積の増、金属建具擁護板設置、自動火災警報装置改修などです。（教育長）

Q 外壁塗装は、塗装業者で入札をするものではないのか。（瀬谷）

A 現在施工中の業者だと、足場の利用など関係経費を軽減することができま

Q 自動火災警報装置は定期的に点検や維持管理を行っていたのでは。（瀬谷）

A 点検は規定通り行っており問題はなかったのですが、今回足場が組まれ確認した結果、腐食している箇所があったため、遠からず改修が必要になることから工事することになりました。（教育長）

Q 外壁塗装とか金属建具設置の工事は、当初から一緒に計画すべきだったのでは。（瀬谷）

A 機能として問題はなく、当初は事業費圧縮など

も考え計画に入れなかったのですが、まわりの柱の塗装をするので外観上バランスも考え、当面は工事予定がないため今回施工することになりました。（教育長）

第8回臨時会

10月17日

審議内容	採決	賛・反
一般会計補正予算 役場新庁舎建設に免震工法を採用するための、地盤調査委託料990万円増ほか	可決	全員賛成
簡易水道事業特別会計補正予算 赤羽浄水場の水位低下に伴う、増圧ポンプ設置工事費610万円増ほか	可決	全員賛成

本会議審議

Q 庁舎は今後を考えれば免震の方がいいと願っていたので、大変良いことだと思う。ただ、工期は大丈夫なのか。（角田）

A 免震にすると3カ月くらいは工期が延びて、5〜6千万円は高くなると

Q 工法変更で、基本設計、実施設計に変更が出るのでは。（角田）

A 基本設計は耐震と免震両方で検討しており、地盤調査の結果をふまえて実施設計は免震工法で進めていきます。（町長）

Q 3・11の後でも耐震工法で進めてきた。それを町民に何の説明もなく免震工法に変更した。そのことが問題だ。（中村）

A 耐震でも何ら差し支わりはないと思っていますが、これからの庁舎の長い年月を考えると、耐震から免震に切り替えた方が良いと判断しました。また、公共の建物は今後ほとんどが免震工法になるものと思います。（町長）



総務産業建設

Q 災害復旧工事3000万円とは

A 道路災害復旧工事と河川災害復旧工事を予定

Q 補正予算に計上された災害復旧工事費3000万円はどのような工事か。

A 台風18号で被災した

北山字双石地内の町道、坂路字馬場宿地内及び南山形字中野沢地内の河川を、公共土木災害復旧事業費負担法に基づく補助

事業により復旧工事を行うものであります。

Q 工期はいつまでか。

A 被災箇所は、いずれも早急な復旧を要するため早期に着手するものであります。

3月末までには期間的に短いことから来年度に繰り越すことも予想されます。

▲町道崩落現場の確認（北山字双石地内）



文教厚生

Q ランニングコースの整備とは

A 中学生や町民の体力向上と健康増進のため

Q 中学校施設管理経費に計上された委託料と工事請負費とは。

A 石川中学校生徒の体力向上や運動部の強化を図るために、石川中学校周辺の既存の道路等を利用してランニングコースを整備するものです。

路面の整備や支障となる樹木などの刈り払い、防犯灯を設置するために計上したものです。

なお、このコースは中学生だけでなく、小学生や高校生、その他一般の町民の皆さんにも利用していただくことを想定しています。

Q 地元との協議はなされたのか。また、利用はいつ頃できるのか。

A 構想の段階で地元役員の意見を伺っております。

すが、刈り払いする山林の所有者には、今後説明

してご理解をいただく予定です。なお、平成26年4月から利用できるよう整備を行います。



▲ランニングコースとして整備される林道尾巻線

Q なぜ石川小・旧石川小が庁舎候補地から外れたのか

A 将来、文教地区として考えている

中村孝太郎議員



質問 「役場庁舎は何とかならないのか」との町民の声は多く、町民の意見を聞いたとは言いがたい。地方自治の本旨である住民自治を無視するに等しい町政運営の在り方は問題だ。

唯一の町民の意思表示である4100名の町民の声も、町当局や議会には届かなかった。

新庁舎建設基本構想・基本計画が新庁舎設計に具現されているのか、町民の危惧している国道の交通量や渡里沢川などの安全・防災対策はどのように具現されているのか、町民の意見はどのように設計の中に反映するのか。

答弁 基本設計は、基本構想・基本計画に基づき策定され、簡素で分かりやすい組織の構成、セキュリティの保護、町民スペースの確保、免震構造の採用、防災拠点・一時避難機能の確保などです。

町民の危惧に対しては国道118号線の右折ラインの設置、将来の町道220号線への接続、町道219号線の整備、石川バイパスの早期供用、周辺道路環境の確保に努めます。

渡里沢川は適宜、良好な環境が維持できるよう努め、千五沢ダムの多目的機能強化に合わせて整備を検討します。

町民の設計への意見反映は、広報いしかわ及びホームページで概要を示し、パブリックコメントで実施設計に反映します。

質問 本庁・分庁舎合わせて2978㎡、新庁舎は3133㎡と執務空間が広がっているわけではなく、駐車場も新庁舎は128台と、相変わらず

職員分が50台確保できない。

石川小・旧石川小は長久保の約4倍、なぜ候補地から外したのか。

答弁 あの地域は文教地区として考えています。

意見 庁舎問題は、様々な問題が解決されていない。解決されるまで進めるべきでない。

Q まちなか再生、町民の災害対策は

A 今後どうするか検討

質問 まちなか再生計画は、庁舎の長久保移転に伴い、市街地の空洞化への危惧に込めるタイミングで提案された。

まちなか再生の重要な要素、町民の意見を反映する具体的な手立て、町有地以外の活性化策、災害から町民の財産・生命を守る対策は。

答弁 町民の意見反映について、町民アンケートを取り組み、また、高橋生のアンケートも予定しています。さらに、各種

団体の深掘会議も開催しており、多くの町民の意見反映を考えています。

賑わい創出のため、町民交流のスペース、学生の憩いの場の提供、駐車場、公衆トイレの整備、観光拠点の設置、空き

地・空き店舗の活用、歴史資源の整備、住環境の整備などを考えています。

災害対策としては、避難通路や河川の改修などを検討していきます。

意見 町の財政は、天井知らずではないので、見えるようにすべき。町づくりの重要な要素は、生活の匂いを日常的に感じること、地域の経済活動や商業の活性化が大事だ。

町中に人口の37%が住んでいる。災害を避けて庁舎を長久保に決定したのに、町中に資料館や福祉施設をつくるのはおかしい。庁舎のように災害を避けてつくるべき。

町民の生命・財産を守るためには、災害を防ぐ対策こそが重要と考える。



▲石川小・旧石川小はなぜ庁舎の候補地から外れたのか



関根 武一議員

Q 総合運動公園サブグラウンド整備は

A ソフトボールで4面使用できる

質問 総合運動公園サブグラウンドの整備について、進捗状況と今後の整備計画は。

答弁 総合運動公園の通称「サブグラウンド」は、一般のソフトボールでは4面、サッカーコートでは1面使用できる施設です。

現在までに、グラウンド面の整備をはじめ、各種用具を収納するための物置を設置し、外周に防球ネットを設けるとともに、水飲み場や防護フェンスを設置するなど、各種競技の実施に支障がないよう整備を図ってきました。

今後の整備については、入り口通路の舗装や柵等



▲大雨のあと地表が流されたサブグラウンド

の設置を検討しており、さらに利用者の意見を伺いながら、各競技に対応できる施設にしていく予定です。

質問 現在、グラウンドの端の方に、8カ所くらい水が集中して流れたために土が大きく削れた亀裂があるが、対策は。

答弁 防水シートで側溝は廻してあり、暗渠排水もされていますが、集中豪雨等を考え、十分管理しながら対応していきたいと考えます。

質問 サブグラウンド周辺に照明設備がない。対策は。

答弁 現在、照明設備は考えていませんが、状況に応じ対応したいと考えます。

要望 スポーツ施設を充実させ、しっかり整備することでもちづくりにもつながることと思うので、スポーツエリアの整備を

強く望む。

Q ふるさと納税の実績は

A 延べ61件、寄付額約883万6千円

質問 ふるさと納税の意義と実績を伺う。

答弁 住民参加型の地方自治を推進し、特色あるまちづくりを進めることを目的として、平成20年3月に「石川町ふるさとまちづくり応援寄付条例」を制定しました。

石川町の、まちづくりを応援してくれる県内外の方々からの寄付金を財源として、まちづくりを行えることは非常に意義あるものと考えます。

平成20年度から24年度までの実績は、延べ61件

で寄付額は、約883万6千円となっています。

この寄付金は、「石川町ふるさとまちづくり応援基金」に積み立てし、寄付者が指定した事業を実施する場合に充当しています。

これまでに、公民館の図書購入費や東日本大震災被災者との「友好のさくら記念植樹祭」経費などに使用しています。

Q まちなか再生計画は市街地の町民と一緒に

A 商店街の皆さんと議論し策定する

渡邊

實議員



質問 今年5月、街中の活気と賑わいを取りもどすため「まちなか再生委員会」を設置し行動計画を策定中だが、重点施策は。

答弁 街中拠点施設の整備、鉱物館や自由民権史跡の整備などが検討されています。

現石川小学校の活用は公民館や図書館、公文書保管、児童クラブ、子育てサロンなどを検討中です。

質問 市街地の町民と一緒に、計画を作るべきと思うが。

答弁 商店街の皆さんと議論を重ね計画を策定します。

質問 来年度の事業は。

答弁 現石川小の文教複合施設への活用計画策定、まちなか拠点施設基本構想策定、まちなか観光の検討を考えています。

Q 消費税3%を町の使用料、手数料に転嫁すべきではない

A 水道使用料、公民館使用料などは転嫁する

質問 消費税8%の町財政への影響は。

答弁 収入では地方消費税交付金が1億1000万円増、支出面では物件費など約5000万円増を見込んでいます。

質問 使用料、手数料などは。

答弁 保育料、住宅使用料、介護サービス、公文書の交付などは非課税ですが、水道料金や町の施設使用料、手数料は、原則3%を転嫁する予定です。

質問 町の判断でできるものは転嫁すべきでない。

答弁 公民館や自治セン

ターの使用料、道路占用料などは転嫁する考えです。

要望 町内商店や中小企業者への影響が大きく、町の対策をお願いしたい。

Q 退職者増に雇用確保を

A 適正配置に努める

質問 職員数は20年間で激減し今は148人である。原発対策、庁舎や学校建築、高齢者や子育て支援など課題は山積みであり、退職者に雇用の確

保を。

答弁 10年間で52人を削減しました。今後は計画的に職員を採用し、適正配置、再任用の効果的運用に努めます。

質問 20年前と10年前の職員数は。

答弁 20年前は238人、10年前は200人です。

質問 20年前と比して90人の削減。減らしすぎでは。

答弁 適正に配置しています。

質問 職員の位置づけをどう考えているのか。

答弁 職員は良く対応しています。

質問 専門職員の人数は。

答弁 土木2、水道1、栄養士2、保健師6、保育士11人です。

要望 町の将来を考え、職員数、専門職員の雇用育成を考えてほしい。

Q 子宮頸がんワクチンの副作用の報告は

A 町内はなし。

県内で4例が報告

質問 子宮頸がんワクチン

ン接種を、平成23年度から補助金を交付し推進してきたが、6月に国は「積極的に勧めしませんが、有効性とリスクを理解された上で受けてください」との方針を出した。9月には福島医科大学を含む11カ所の病院を副

作用専門病院に指定した。町の接種状況は。

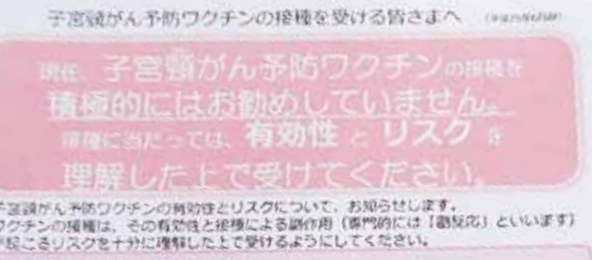
答弁 平成23年度は168人、24年度は88人、25年度は8月まで25人です。副作用の報告はありません。

県内では4月～7月までに4例報告があります。

質問 補助金をなくしても良いのでは。

答弁 定期接種になつているので、なくすことはできません。

要望 ワクチンの有効性とリスクについて町民によく説明してほしい。



▲ワクチン接種の積極的推進中止のちらし



瀬谷 京子議員

Q 男女共同参画プランの今後は

A 新たな計画を作っていきたい

質問 社会情勢の変化に対応するため、男女が対等な構成員として社会のあらゆる分野に参画し、共に責任を担うものでなければならぬ。

質問 この考えを基本に、町は平成16年から25年までの計画「いしかわ男女共同参画プラン」をスタートさせ、今年度がその最終年度である。10年間の実績と成果、評価は。

答弁 小・中学校で道德の授業で男女の協力について話し合う機会を設けたり、小学校の生徒の名簿を混合にする取り組みをしました。

また、家事・育児等の家庭責任は男女共に担う意識の啓発、仕事と家庭

の両立のため土曜終日保育や延長保育、放課後児童クラブの充実、高齢者の健康づくりやサロン、ひとり親家庭への相談支援の充実と母子保健の充

質問 実等を図りました。
答弁 それらの評価は。指標を設定してないため全体の評価は判断できませんが、総合計画の数値目標である女性が

参画する審議会等の割合は、19年度が72・2%だったものが今年度は86・6%と、促進されたものと考えます。

しかし構成員の男女比率はまだ男性が占めている状況で、社会における不合理な性別役割分担意識を解消していかねければならないと考えます。

質問 後期の5年間では、男女平等の意識づくりを重点に事業を実施することであったが。

答弁 町民全体に関する事業は取り組むことができませんでした。

質問 町には県の研修を受けた男女共同参画アドバイザーが20人いる。この方達の助言協力を得たり、企画をしてもらって

もいいのではないか。

答弁 次年度以降は、各世代の意識調査をしながら新たな計画を作っていきたいと考えています。

これは、普通の課題と考えます。

Q 委員会等の女性登用の現状は

A 登用率は22%

質問 委員会等の女性登用の現状は。

答弁 15の審議会と5つの委員会の委員総数348人のうち、女性委員は78人で女性登用率は22%です。

質問 平成15年は24・7%、20年は24・1%であり減っている。教育委員や農業委員、選挙管理委員、行政区三

役、PTA会長等にも女性がいらない。社会全体が意識を変えなければならぬと思うが。

答弁 指導をしていきたいと思っています。

質問 町職員的一般行政職に女性管理職がいらないが、登用の考えは。

答弁 現在女性職員は52人で全職員の35%を占めています。課長補佐以上は3人で、保育士などの資格免許職です。

職務遂行能力や統率力、掌握能力が必要で、積極的にやる気があれば、近い将来管理職への登用もあり得ると判断しています。

男女を問わず能力主義で登用する考えです。



▲「男子厨房に入るべし」（野木沢自治センター事業）

Q 新庁舎の建設スケジュールは

A 26年7月に本体工事を着工

角田 忍議員



【質問】 役場新庁舎の建設スケジュールは。

【答弁】 12月中には実施設計に入り、設計図の作成業務に3カ月、積算業務に2カ月、その後、免震の認定及び建築確認申請等の手続を経て、平成26年7月に本体工事に着手したいと考えます。

【質問】 工事の入札は、当然地元を優先すべきと思うが、規模や工法等を考えると、外部の力を借りる方法はどうか。

【答弁】 庁舎建設は、工事規模も金額も多大になることから、工期や技術要件、施工能力等総合的に判断し、適正な入札方法を選んでいきます。



▲役場新庁舎外観イメージ

なお、庁舎建設委員会からの付帯意見である、地元業者の参入についても考慮していきたいと考えます。

【質問】 庁舎建設に、地元

木材の利用の考えは。

【答弁】 新庁舎の構造は、耐久性や断熱性、気密性、耐火性等を総合的に勘案した結果、最も効果的な建築方法は、鉄筋コンク

リート造りとの結論に達しました。

鉄筋コンクリート造りの場合、木材を活用できる範囲は限られますが、地元産材による腰壁や家具等の活用を検討したいと考えます。

【質問】 庁舎に太陽光発電と蓄電池導入の考えは。

【答弁】 地球温暖化の原因ともいわれる、二酸化炭素発生量の少ない設備システムの採用や地球環境に配慮した環境共生型の施設となるよう計画しており、役場の防災拠点に対する設備として30キロワットの太陽光パネルと45キロワットの蓄電池を整備したいと考えています。

Q 新石川小学校の建設スケジュールは

A 26年3月に着工したい

【質問】 新石川小学校の建設スケジュールは。

【答弁】 現在、用地造成のための開発行為の協議や設計を行い、1月には許

可を受け、2月上旬に造成工事着手を予定しています。

校舎は26年3月上旬建築工事に着手予定です。

用地造成工事と建築工事は並行して実施し、26年11月には用地造成工事を終え、27年3月に校舎建築工事を完了して27年4月の開校を迎えられるよう努力します。

【質問】 校舎施設に地元材の利用は。

【答弁】 校舎の内装は、床や腰壁部分の木質化を図るよう計画しています。特に、腰壁は杉材を活用する設計を進めています。

【質問】 校舎に太陽光発電と蓄電池の導入は。

【答弁】 校舎には30キロワットの太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを活用するとともに、児童の学習教材としても活用したいと考えています。発電した電気は、すべてリアルタイムに校舎で使用する計画ですが、蓄電池は設置しません。



遠藤 貢蔵議員

Q 高齢者サロンに予算を

A 積極的に環境整備を図る

質問 平成26年度の町政運営方針と施策は。

答弁 第5次総合計画の着実な推進と、統合小学校及び役場庁舎の建設、一般廃棄物最終処分場関連の町道改良事業など、大規模事業の進捗に努めていきます。

質問 現在41カ所で、高齢者サロンが開設されているが、送迎や環境に課題があり、健康増進のため推進するのであれば、課題を検証し予算を付けるべきではないか。

答弁 高齢化対策に有効であり、今後もご協力を得ながら積極的に環境整備を図っていかねければならないと考えます。

質問 子育て支援・キッ

ズパークの開設で、常時多くの親子が集う交流の場が必要と考えるが、
答弁 若いお母さんが、安心して参画できるように場所の提供をしていきたいと考えています。

Q 平成26年度の収支見込みは

A 交付税、町民税等は減収

質問 平成26年度の収入

見込みと一般会計当初予算想定額は。

答弁 25年度に比べ、地方交付税で約5千万円、町税で約1千万円減収の見込みです。

また、大規模事業費の増大により、今年度比約50%増の90億円程度になるものと思われます。

財源不足が見込まれるので、財政調整基金（現在10億4千万円）の取り崩しが必要になると考えています。

質問 現在考えられている財政調整基金の取り崩し額は。

答弁 概算で3億3千万円程度を考えています。

要望 基金の的確で有効な運用を。

Q 町民の望む事業に予算を

A 意向を十分考え実施したい

質問 平成25年度の決算

剰余金（繰越金）の取り扱いは。

答弁 剰余金については、二分の一は財政調整基金に、二分の一は翌年度補正予算の財源に充てますが、減債基金への繰り入れなど総合的に勘案していきます。

質問 平成24年度決算のように多額の繰越金があるならば、各地区からの

請願や陳情など町民が望む事業に予算を付けるべきではなかったのかとの声が多く聞かれた。

26年度には、25年度決

算繰越金の充当を。

答弁 地元の意向も十分考えて実施するように指示します。

質問 首都圏にアンテナショップ開設とは。

答弁 スーパーの一角を借りて本町の物産販売を試験的に行い、その後、単独でのアンテナショップ開設を目指すことで考えています。

要望 本町の本気度を示す意味でも、単独開設には費用が掛かるが、交流関係を活かして早期実現を望む。



▲介護予防のための健康体操（湯郷渡地区サロン）

あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成24年12月定例会より

営農指導と開パ

事業負担金の軽減は

● 「今後の営農指導について」の質問に対し、「農業再生専門指導員を置き、指導体制をとる」との答弁であったが、その後は

対応等についても順次対応していただく予定です。

● 平成25年度から産業振興課内に、農業再生専門指導員を配置しました。主な業務は新規就農者への営農指導や経営等の相談業務など、若い担い手育成に努めていただいています。今後は、米政策の改革に伴う新制度への



▲農業再生専門指導員らが、りんどう栽培を視察

● 「国営開パ事業受益者負担を軽減する方法を検討してほしい」との質問に対し、「農業は主力産業でありこの問題を忘れることなく対応していきたい」との答弁であったが、その後は

● 母畑地区土地改良区、国関係機関と協議を持つなど、農家負担の軽減に向けて取り組んでいます。また、会議などでは、関係町村とともに、意見要望を常に述べているところです。

新統合小学校の

工事完了時期は

● 「小学校新校舎建設はスケジュール通りに進むのか」の質問に対し、「建設工は平成26年度当初ぐらいを考えている」との答弁であったが、その後は

● 用地造成のための開発行為の協議を終了しましたので、2月に造成工事に着手する予定です。

また、校舎建築の実設計につきましては既に完了しておりますので、3月には建築工事に着手したいと考えています。

用地造成工事と建築工事は並行して実施し、事業を効率的に進めながら、本年11月に用地造成工事を終え、平成27年3月には校舎建築工事を完了して、

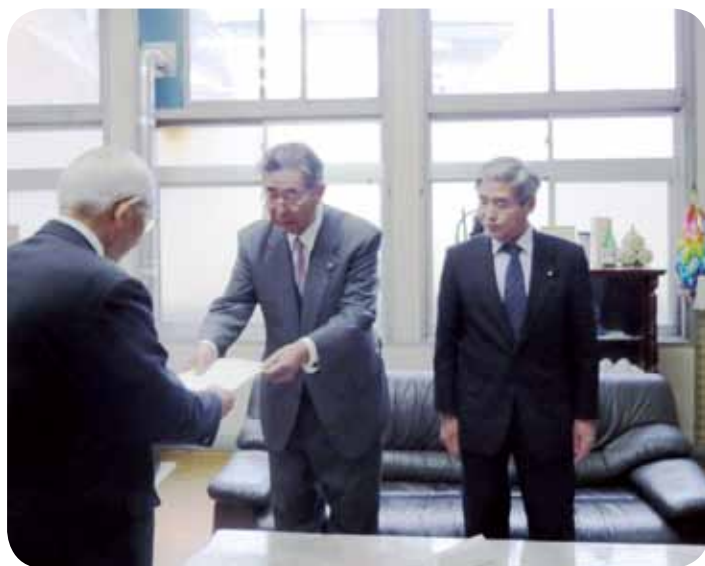
27年4月の開校を迎えられるよう努力していきます。



▲新石川小学校イメージ図

報告します 議会の活動

町長に要請



▲正副議長が町長に要請書を提出

12月5日に開かれた議員全員協議会において、町執行部から庁舎の基本設計が示され、庁舎各階スペースの詳細や工事金額の説明を受けました。

しかし、示された工事金額が当初の10億7300万円から、税込み金額15億9800万円と大きく増額しており、資材や人件費の高騰など、やむを得ない点もありましたが、今後の庁舎建設については次の点に配慮されるよう議員全員で協議を行い、12月24日、正副議長が町長に要請書を提出しました。

石川町役場新庁舎建設にかかる要請（要旨）

先の議員全員協議会において、新庁舎建設の基本設計の説明をいただきましたが、工事費が当初の見込みから大きく変更していることから、議会として話し合いを進めてきました。

つきましては、次の事項について十分な対応と配慮をされますよう町議会として要請します。

記

1. 新庁舎建設は庁舎等建設基金10億7300万円を基本としつつも、合理的な範囲で機能性や効率性の高い親しまれる庁舎設計をされたい。
2. 大幅な変更をする場合、合理的理由を議会に示されたい。
3. 予算計上にあたっては、議会に対し早めに協議をされたい。

平成25年12月24日
町長加納武夫様
議会議長大野 峯



▲注目されている再生（自然）可能エネルギー

再生可能エネルギーを学ぶ

10月29日、ビッグパレットふくしまで開かれた、県町村議会議員研修会に議員全員が参加し、早稲田大学研究員の岡田久典氏から「省エネ・再生可能エネルギーを活用した地域再生と復興戦略」、慶応義塾大学教授の小林良彰氏から「これからの日本の政治」についての講演を聴講しました。

ふくしま 駅伝を応援

11月17日の市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に議員も2班に分かれ、石川町チームの選手はじめ大会に参加した選手たちを沿道から応援しました。

石川町チームは総合12位、町の部3位となり、大変すばらしい結果を残してくれました。選手の皆様、スタッフの皆様、おめでとうございます。そして、お疲れさまでした。



▲選手の皆さんから元気をもらいました

第3回議会報告会

118人が積極的に参加



▲沢田地区会場

皆さんから出された意見

10月23日～25日に、2班に分かれて開催した第3回議会報告会には118人の町民の皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございました。報告会では、議員から9月定例会の審議内容や議会の活動、重要案件の審議と結果を報告し、そのあと町民の皆さんから町に対するご意見を伺いました。皆さんからいただきました多くのご意見は、2月末頃までに実行委員会でご調査・協議を行い結果を町執行部に要望する予定です。

新庁舎建設

- ・職員駐車場の確保を
- ・渡里沢川の改修を
- ・企業誘致

- ・藤沢工業用地残地の販売を
- ・周辺道路の側溝整備を
- ・自治センター

- ・自治センターの町監査

実施を

財政

- ・税未納金の回収に全力を
- ・決算剰余金で要望事業を行ってほしい
- ・国民健康保険
- ・医療費の上昇を抑える取り組みを

廃校利用

- ・廃校の利活用は町主導で早急に進めること(但し、地元との協議を十分に)
- ・地域だけでの利活用は困難
- ・更地にするのは困る
- ・更地にしても良かったほうが良い

産業

- ・中山間農家が生き残る対策を
- ・イノシシ対策の充実を(罾の講習会の実施と補助を)
- ・その他
- ・若者の雇用確保と人口増の施策を
- ・千五沢ダム下流河川の

自治センター

- ・千五沢ダム下流河川の

学校統合

- ・スクールバスの運行
- ・通学路の整備
- ・自治センター
- ・地域自治協議会の今後
- ・の在り方

各課長から説明

- ・これら調査していく事項に関して、12月17日町長に依頼し、次のとおり担当の課長から状況について説明を受けました。



▲各課長から説明を聞く

議会で継続調査を

報告会でのご意見の中から、特に次の事項に関しては今後も議会として調査を続けていくことを確認し、協議検討のうえ町に要望していくこととしました。

庁舎建設

- ・交通対策(出入り口及び周辺道路の整備)

学校統合

- ・スクールバスの運行
- ・通学路の整備
- ・自治センター
- ・地域自治協議会の今後
- ・の在り方

自治センター

- ・千五沢ダム下流河川の

整備を

- ・最終処分場の協定書を優先して進めること
- ・開パ事業償還金の見直しを
- ・災害復旧の事業は早急に行うこと
- ・最終処分場に放射能汚泥の受け入れはしないこと

町民グラウンド代替え

- ・スポーツ大会が開催できるような整備を

各課長から説明

これら調査していく事項に関して、12月17日町長に依頼し、次のとおり担当の課長から状況について説明を受けました。

各課説明(12月17日)

総務課	・交通対策(出入り口及び周辺道路の整備)
教育課	・スクールバスの運行
・スポーツ大会が開催できるような整備を	
都市建設課	・通学路の整備
地域づくり推進課	・地域自治協議会の今後の在り方

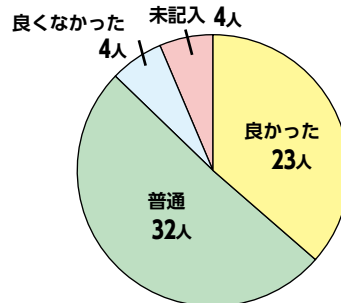
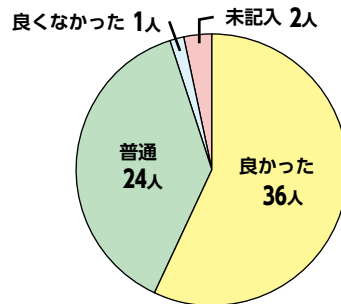
分かりやすくなってきたね!!

アンケートに 寄せられた声

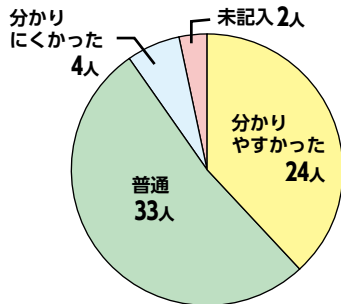
アンケート結果

● 議会報告会 参加者 118人
● アンケート回答者 63人

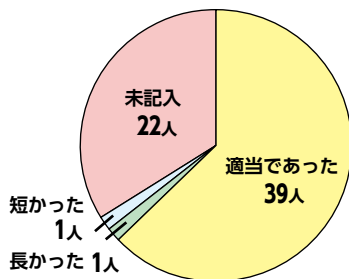
議会報告会はどうでしたか 意見交換の方法について



報告内容について



報告会の時間について



▲野木沢地区会場

①議会報告会はどうでしたか
・各議員からの答えがあり、お互い責任を持って活動している感じが見られた。
・身近に議会の中身が見えた。
・質疑に対し、熱心に答弁をいただいた。
・わかりやすかった。
・聞きたいことを素直に話し合えた。
・議会だけでなく、実際に説明されることで理解が深まると思う。
・意見が活発に出た。

②議会からの報告について
・資料以外で説明が必要なた部分がなかった。
・報告だけでなく文書ですむ。
・できればもっと会場を分割してほしい。
・資料が整理されていた。
・簡潔な報告を。文章の棒読みは細かすぎる。
・議会報告の時間が長い。
・資料を読み上げるだけの部分が、かみ砕いた説明だとわかりやすい説明が早口。
③意見交換について

・進め方が柔らかく良かった。
・議員の話が長い。
・一人の発言時間を制限すべき。
・質問時間を多くとってほしい。
・テーマが大きすぎた。
・まちなか再生について、話しにくかった。
・マイクを使用するため、話しにくかった。
・これからも続けてほしい。
④報告会のご意見・ご要望
・とても分かりやすくて良かった。
・辛口の質問にも、本音で答えたのはよい。
・もっとわかりやすくお願いしたい。
・細かいことより議会としてどのような活動をし、町政に反映させたか、さらに町民のために何をすべきか重要な課題を提言・提案して実行されることを望む。
・各々の質問や意見・要望は、地域にとって切実な事柄であり、各議員は石川町の今後を考え、我が事として町執行部に具

議会報告会を

これからも続けてほしい



▲石川地区会場

申して、実現に努力してほしい。

- ・これからも議会報告会の機会を設けてほしい。
- ・一般市民の参加が少なく感じた。
- ・具体的な報告について、数字的な細かい説明がほしかった。
- ・継続して開催してほしい。
- ・地元議員も出席した方がよい。
- ・議事の運営について、座長はきちんと主導してほしい。
- ・一問一答で、もう少しスムーズであればよかった。
- ・年1回でなく、2回以上開催してほしい。
- ・参加者増加に努力し、区長会や自治センターの声掛け推進が必要。
- ・やつても意味がないのでは。
- ・人が集まらないので、集める方法を検討してほしい。区長よりも一般の方々が出席しないと意味がない。
- ・地域住民との忌憚のない意見交換会、市民の意見を吸い上げ、開かれた

山橋・石川・野木沢							1班	班編成
大野	中村	関根	角田	永沼	瀬谷	関根		
	孝							
峯	太郎	信次	忍	一夫	京子	武一		
中谷・母畑・沢田							2班	
二瓶	矢内	遠藤	渡邊	下山	草野			
				田				
義雄	義將	貢蔵	實	和雄	伝明			

議会を期待する。今後も継続を強く望む。

- ・定期的に開催してほしい。
- ・継続は力なり。
- ⑤議会に対して
- ・本音で話せる、開かれた議会が望ましい。その



▲母畑地区会場

ためにも議会報告会には意義。

- ・私たちの代表ですので、がんばってください。
- ・年1回程度、子ども議会の開催を検討ほしい。
- ・小学生の意見も大切ではないか。
- ・皆さんの活躍をうれしく思う。議会は執行権がないといわれていますが、市民のため、提言・提案を町当局に大いに働きかけてほしい。
- ・議員の皆様、本当にご苦労様です。今後とも、町のため頑張ります。
- ・報告会で出た意見・要望が議会に反映されるようお願いしたい。

・廃校になった学校の活用は、学区単位に開催し、議員さんを含め意見交換の場を新たに企画していただきたい。

・市民の声を広く聞き入れ、ますます

開かれた議会であるよう頑張ってください。

- ・一般質問や委員会の審議時間を増やし、より詳しい質疑を希望する。
- ・町発展のため頑張っていたきたい。
- ・脱原発の決議を。
- ⑥その他
- ・スクールバス運行については、地域の環境にあった検討をお願いしたい。山形地区は、小型バスを運行してほしい。
- ・母畑・クサイド周辺及びダム周辺の桜を手入れしてほしい。
- ・北山にイノシシが生息し、作物を荒らしているので駆除をお願いします。



▲中谷地区会場

未来に向かって!!

― 高校生の声 ―

県立石川高校

2年 緑川伸吾

将来について思うこと



緑川伸吾さん

り組み、自ら課題を見つけて、よい成績につながる努力をしています。そのような中で、今は

福島大学の経済経営学類への進学を考えています。以前、オープンキャンパスに行った時、その学部では地域に根差すことの大切さや経済・経営を学ぶために必要な国際感覚が学べることを知りました。高校卒業までに私はどのような形で社会に貢献できるかを考え、そのために日々一つ一つ努力していきたいと思います。私は登下校の時に、町

私は昨年10月から生徒会長として、生徒会活動の活性化を目標に様々な活動をしています。また、部活動はパソコン部に所属して、将来に役立つ資格を取得するために充実した高校生活を送っています。

私は入学当初から大学進学を目標に勉強を進めていて、自分がよりよい成績を上げるには何が必要かを考えています。そのためにテストの結果だけでなく、日々の授業や課題をおろそかにせず取



▲パソコン検定合格を目指して練習問題に取り組む

の中を歩いていて感じるものがあります。それは町の中で出会う人に挨拶をするとはほぼ全員が挨拶を返してくださり、石川町の人々の温もりが感じられとても良い気持ちになることです。

一方で、通学路にゴミが無造作に捨てられているのを見かけることがあり、素晴らしい自然に囲まれたこの環境を汚している人がいることはとても残念に思います。

一人ひとりが意識をしていればいいのですが、「誰も見ていないからこれでいいだろう」という気持ちを持たせないことも必要だと思います。

そこで、定期的に町や地域でボランティアを募り町全体をきれいにすれば、わざわざそんな場所にゴミを捨てようとする人が少なくなるのではないかと思います。

私は「クリーン作戦」という学校行事の一環で、学校周辺のゴミ拾い活動を行っています。また、普段の生活でもゴミを出

さないよう努めるとともに、ゴミが落ちていれば自ら進んで拾っています。このような活動が町全体に広がれば、石川町はこれからは素晴らしい町になると思います。

私は、生徒会活動やクリーン活動を心がけながら、進路実現に向けて、残りの高校生活を充実させていきたいと思っています。

議会を傍聴

しましょう

議会は、本会議・委員会とも傍聴できます。

3月定例会「一般質問」は3月10日(月)の予定です。

議会広報編集特別委員

委員長	瀬谷 京子
副委員長	草野 伝明
委員	下山和雄
委員	関根 武一
委員	遠藤 貢蔵
委員	角田 忍

編集後記

新年おめでとうござい

平成26年は、役場新庁舎の建設や統合小学校の建設など、町の大きな事業が形となって動き出す年です。

議会としても、今後のまちづくりを考えながら、まちなか再生委員会の考えをもとに、「新生石川町」の誕生を目指して、執行部に声を上げていきたいと思っています。

1月12日の成人式に列席させていただき、晴れやかな気持ちになりました。

新成人の皆さん、一緒に社会をつくっていきましょう。関根武一



▲第66回石川町成人式